

令和4年度（2022年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

憲 法

C日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和4年度（2022年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	憲	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（20点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

Aは、傷害罪で懲役5年の実刑判決を受け、現在も服役中である。

受刑者は、公職選挙法第11条1項2号により選挙権を有しないとされているため、Aは、昨年に行われた衆議院議員総選挙において、選挙権を行使することができなかった。Aは、自分はたしかに受刑者ではあるが、日本国民の基本的権利である選挙権が奪われることは納得がいかない。また、自分の刑期が終了する前に行われる予定である次の参議院議員通常選挙においてもまた、選挙権が行使できないことについても、納得がいかず、どうにか投票したいと考えている。

Aは、弁護士と相談して、自分の選挙権を求めて裁判を起こすことにした。

[問い]

Aが提起すべき訴訟を指摘しなさい。また、受刑者の選挙権制限は、憲法上どのように判断されるか、関連する判例を踏まえつつ論じなさい。

### 問題2（5点）

大学の自治とは何か、説明しなさい。